

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	卒業制作1
科目基礎情報					
開設学科	ITスペシャリスト科	コース名	システム専攻 / モバイルアプリ専攻	開設期	前期
対象年次	4年次	科目区分	必修	時間数	270時間
単位数	9単位	授業形態	実習		
教科書/教材	各グループごとに必要に応じて書籍を使用して良い。インターネットの情報や図書館の書籍も積極的に活用すること。				
担当教員情報					
担当教員	木崎、西部		実務経験の有無・職種	有・システムエンジニア	
学習目的					
これまで身につけてきた知識と技術を活用し、グループでの制作に取り組む。この制作活動を通して、社会に出て仕事をする上で必要なコミュニケーション能力を実践的に身につけていくこと、実装力を養い仕事に活かせる技術力にしていくこと、IT分野の技術動向を自分たちで調べ開拓する力を得ること、プロジェクトに対し適切な役割分担をし、プロジェクトを協力して推進する能力やマネジメントできる能力を育むことなどを目的とする。					
到達目標					
仕事をする上で必要なコミュニケーション能力を身につけ、授業で学んできたことを仕事に活かせる技術力にし、IT分野の技術動向を知り、自分たちで活用できるようになり、さらにプロジェクトマネジメント能力またはプロジェクトに適切に協力して推進させることができるようになることを目標とする。					
教育方法等					
授業概要	卒業制作2の前段の科目である。卒業制作2の実施に先駆け、グループ作成とグループで取り組む制作物を決める。また、制作物については、機材調達や制作期間、技術的要素の観点から、実現性を考慮し、決定する。グループ作業では、タスクの洗い出し・役割分担・スケジュールリングを行う。授業の最後に、中間発表を行う。（最終的な発表は、卒業制作2で行う）				
注意点	卒業制作は、必ず2名以上のグループで行うこととする。学校所有の機材などが制作に必要な場合は申請により使用することもできるが、他の授業での使用が優先される。計画と分担をしっかりと決めて協力して進めること、遅刻や欠席をしないこと、提出物は期日を守り必ず提出すること。評価は基本的にはグループ単位で行うので、グループ全体で責任を持って活動すること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	制作物（制作内容、展示パネル、発表資料、ドキュメントを含む）を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	20%	授業終了時に提出する進捗報告書の記載内容および提出状況を評価する		
	成果発表 （口頭・実技）	20%	中間発表について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	オリエンテーション		卒業制作1の実施趣旨、目標、進め方、および評価方法を理解する		
2回	制作物の検討－個別－（1）		制作してみたいアプリケーションやサービス、使ってみたい機材や技術を一人ひとり列挙する		
3回	制作物の検討－個別－（2）		制作してみたいアプリケーションやサービス、使ってみたい機材や技術を一人ひとり絞る		
4回	発表（1）		制作してみたいアプリケーションやサービス、使ってみたい機材や技術について一人ひとり発表する		
5回	発表（2）		制作してみたいアプリケーションやサービス、使ってみたい機材や技術について一人ひとり発表する		
6回	グループ作成		グループが決定する		
7回	制作物の検討－グループ－（1）		制作してみたいアプリケーションやサービス、使ってみたい機材や技術を列挙する		
8回	制作物の検討－グループ－（2）		具体的な制作物について、2～3候補を挙げる		
9回	実現性確認（1）		調達機材や、制作期間や、技術要素などの観点から、実現性があるかどうかを調べる		
10回	実現性確認（2）		調達機材や、制作期間や、技術要素などの観点から、実現性があるかどうかを調べる		
11回	実現性確認（3）		調達機材や、制作期間や、技術要素などの観点から、実現性があるかどうかを調べる		
12回	実現性確認（4）		調達機材や、制作期間や、技術要素などの観点から、実現性があるかどうかを調べる		
13回	実現性確認（5）		実現性確認の結果を踏まえ、制作物を1つに決定する		
14回	計画（1）		中間発表までの計画が作成できる		
15回	計画（2）		制作物と計画について担当教員の承認をうける		

授業計画（１６回～３０回）		
回	授業内容	各回の到達目標
１６回	計画実施（１）	計画に沿って、技術調査、設計作業、プロトタイプ作成などを行い、アウトプットをだす
１７回	計画実施（２）	計画に沿って、技術調査、設計作業、プロトタイプ作成などを行い、アウトプットをだす
１８回	計画実施（３）	計画作業に加え、進捗会議を行い、プロジェクトの状況を把握し、必要に応じ対策を講じる
１９回	計画実施（４）	計画に沿って、技術調査、設計作業、プロトタイプ作成などを行い、アウトプットをだす
２０回	計画実施（５）	計画に沿って、技術調査、設計作業、プロトタイプ作成などを行い、アウトプットをだす
２１回	計画実施（６）	計画作業に加え、進捗会議を行い、プロジェクトの状況を把握し、必要に応じ対策を講じる
２２回	計画実施（７）	計画に沿って、技術調査、設計作業、プロトタイプ作成などを行い、アウトプットをだす
２３回	計画実施（８）	計画に沿って、技術調査、設計作業、プロトタイプ作成などを行い、アウトプットをだす
２４回	計画実施（９）	計画作業に加え、進捗会議を行い、プロジェクトの状況を把握し、必要に応じ対策を講じる
２５回	計画実施（１０）	計画に沿って、技術調査、設計作業、プロトタイプ作成などを行い、アウトプットをだす
２６回	計画実施（１１）	計画に沿って、技術調査、設計作業、プロトタイプ作成などを行い、アウトプットをだす
２７回	計画実施（１２）	計画作業に加え、進捗会議を行い、プロジェクトの状況を把握し、必要に応じ対策を講じる
２８回	計画実施（１３）	計画に沿って、技術調査、設計作業、プロトタイプ作成などを行い、アウトプットをだす
２９回	計画実施（１４）	計画に沿って、技術調査、設計作業、プロトタイプ作成などを行い、アウトプットをだす
３０回	計画実施（１５）	計画作業に加え、進捗会議を行い、プロジェクトの状況を把握し、必要に応じ対策を講じる
授業計画（３１回～４５回）		
回	授業内容	各回の到達目標
３１回	計画実施（１６）	計画に沿って、技術調査、設計作業、プロトタイプ作成などを行い、アウトプットをだす
３２回	計画実施（１７）	計画に沿って、技術調査、設計作業、プロトタイプ作成などを行い、アウトプットをだす
３３回	計画実施（１８）	計画作業に加え、進捗会議を行い、プロジェクトの状況を把握し、必要に応じ対策を講じる
３４回	計画実施（１９）	計画に沿って、技術調査、設計作業、プロトタイプ作成などを行い、アウトプットをだす
３５回	計画実施（２０）	計画に沿って、技術調査、設計作業、プロトタイプ作成などを行い、アウトプットをだす
３６回	計画実施（２１）	計画作業に加え、進捗会議を行い、プロジェクトの状況を把握し、必要に応じ対策を講じる
３７回	計画実施（２２）	計画に沿って、技術調査、設計作業、プロトタイプ作成などを行い、アウトプットをだす
３８回	計画実施（２３）	計画に沿って、技術調査、設計作業、プロトタイプ作成などを行い、アウトプットをだす
３９回	中間発表準備（１）	プレゼン資料やＰＶの作成、デモの準備をし、リハーサルを行う
４０回	中間発表準備（２）	プレゼン資料やＰＶの作成、デモの準備をし、リハーサルを行う
４１回	中間発表準備（３）	プレゼン資料やＰＶの作成、デモの準備をし、リハーサルを行う
４２回	中間発表（１）	グループ毎に制作物の中間発表を行う
４３回	中間発表（２）	グループ毎に制作物の中間発表を行う
４４回	成果物の整理・集約・提出（１）	成果物の整理・集約を行う
４５回	成果物の整理・集約・提出（２）	成果物を提出を終える